2024 年度 授業計画(シラバス)

学	科	柔道整復師学	科	科	目	区	分	専門分野	授業の方法		講	髮
科目	目 名	臨床柔道整復学名	- 論 Ⅱ	必修	/選	択の	別	必修	授業時数(単位数)	60	(4)	時間(単位)
対 象	学年	3年生		学期.	及び	曜日	狠	前期	教室名	第2村	交舎2	03教室
担当	教員	尾藤何時夢・川村智広・仲村剛・ 岩村一成・林了大・澤卓実	実務経験と その関連資格									

《授業科目における学習内容》

柔道整復師として医療現場で患者さんに施術を行うためには、判断をするための知識が必要になります。判断するためには ヒトの身体について、専門以外にも科目横断的に理解しておく必要があります。そのために、この講義では科目横断的な視 点から俯瞰的に判断できるようになるための知識を培います。

《成績評価の方法と基準》

1. 定期試験: 100%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

解剖学・生理学(全国柔道整復学校協会編集)適宜資料の配布を行う

《授業外における学習方法》

授業前後に予習と復習を行うこと

《履修に当たっての留意点》

①疑問点は質問をして、その場で解決させること。

②この科目の理解を深めるためには予習と復習の両方が必須です。単元ごとに遅れの出ないように予習と復習を行ってくだ

授美方	業の 法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第	講義	授業を 通じての 到達目標	ヒトの身体の基本的構造について再確認する①	解剖学 生理学	事前に教科書(範囲)を 熟読しておくこと
1 回	我形式	各コマに おける 授業予定	オリエンテーションと総論 I		
第	講義	授業を 通じての 到達目標	ヒトの身体の基本的構造について再確認する②	解剖学	東前) <i>李</i> 教科書(祭冊)な
2 回	我形式	各コマに おける 授業予定	総論Ⅱ		事前に教科書(範囲)を 熟読しておくこと
第	講	授業を 通じての 到達目標	ヒトの身体の基本的構造について再確認する③		事前に教科書(範囲)を 熟読しておくこと
3	義形式	各コマに おける 授業予定	総論Ⅲ		
第	講	授業を 通じての 到達目標	血液と疾患の関連性を理解する①	解剖学	事前に教科書(範囲)を 熟読しておくこと
4 回	義形式	各コマに おける 授業予定	血液の組成、働きと疾患について	生理学 (柔道整復学校 協会編集)	
第	講義	授業を 通じての 到達目標	血液と疾患の関連性を理解する	解剖学 生理学 (柔道整復学校 協会編集)	古 <i>尘</i>)νΨ叭 ≯ /炊皿\♪
5 □	莪形 式	各コマに おける 授業予定	血液の循環と疾患について		事前に教科書(範囲)を 熟読しておくこと

	業の法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第	講義	授業を 通じての 到達目標	呼吸器と疾患の関連性を理解する	解剖学 一生理学	事前に教科書(範囲)を
6 回	形式	各コマに おける 授業予定	呼吸器の機能と疾患について	(柔道整復学校 協会編集)	熟読しておくこと
第	講義	授業を 通じての 到達目標	泌尿器と疾患の関連性を理解する	解剖学 一生理学	事前に教科書(範囲)を
7 回	我形式	各コマに おける 授業予定	泌尿器の機能と疾患について①	(柔道整復学校協会編集)	事前に教行者(単四)を 熟読しておくこと
第	講義	授業を 通じての 到達目標	泌尿器と疾患の関連性を理解する	解剖学 生理学	事前に教科書(範囲)を
8 0	我形式	各コマに おける 授業予定	泌尿器の機能と疾患について②	生性子 (柔道整復学校 協会編集)	事前に教育者(東西)を 熟読しておくこと
第	講義	授業を 通じての 到達目標	栄養、代謝と疾患の関連性を理解する	解剖学 一生理学	東前に粉利書(築田)を
9	形式	各コマに おける 授業予定	栄養、代謝と疾患について	(柔道整復学校協会編集)	事前に教科書(範囲)を 熟読しておくこと
第	講義	授業を 通じての 到達目標	消化器系、吸収と疾患の関連性を理解する	解剖学 生理学	事前に教科書(範囲)を 熟読しておくこと
10回	戦 形 式	各コマに おける 授業予定	消化器系、吸収と疾患について①	(柔道整復学校協会編集)	
第	講義	授業を 通じての 到達目標	消化器系、吸収と疾患の関連性を理解する	解剖学 生理学 (柔道整復学校 協会編集)	事前に教科書(範囲)を 熟読しておくこと
11 回	我形式	各コマに おける 授業予定	消化器系、吸収と疾患について②		
第	講義	授業を 通じての 到達目標	内分泌系と疾患の関連性を理解する	解剖学 〒生理学	事前に教科書(範囲)を 熟読しておくこと
12回	形式	各コマに おける 授業予定	内分泌系と疾患について①	(柔道整復学校 協会編集)	
第	講義	授業を 通じての 到達目標	内分泌系と疾患の関連性を理解する	解剖学 〒生理学	事前に教科書(範囲)を
13 回	形式	各コマに おける 授業予定	内分泌系と疾患について②	(柔道整復学校協会編集)	熟読しておくこと
第	講	授業を 通じての 到達目標	内分泌系と疾患の関連性を理解する	解剖学 生理学	事前に教科書(範囲)を
14	義形式	各コマに おける 授業予定	内分泌系と疾患について③	生理学 (柔道整復学校 協会編集)	事前に教件者(範囲)を 熟読しておくこと
第	講	授業を 通じての 到達目標	内分泌系と疾患の関連性を理解する	解剖学	東治沙粉科書(悠田)+
15 回	義形式	各コマに おける 授業予定	内分泌系と疾患について④	一生理学 (柔道整復学校 協会編集)	事前に教科書(範囲)を 熟読しておくこと

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復師学科	科目区分	専門分野	授業の方法	講義
科目名	臨床柔道整復学各論Ⅱ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対象学年	3年生	学期及び曜時限	前期	教室名	第2校舎203教室
担当教員	尾藤何時夢・川村智広・仲村剛・ 岩村一成・林了大・澤卓実 実務経験と その関連資格				

《授業科目における学習内容》

運動器系の疼痛・診察の鑑別診断・整復固定・後療法 スポーツ外傷 軟部組織損傷の診察の鑑別・検査法

《成績評価の方法と基準》

1. 定期試験: 100%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

柔道整復学理論編(全国柔道整復学校協会編集) 適宜資料の配布を行う

《授業外における学習方法》

次回授業内容を確認するため、第1回目授業時に授業計画を配布することにより、学生は事前学習を行うとともに小テストなどで確認する

《履修に当たっての留意点》

疑問点は質問し、日々の反復復習をしっかり行ってください。

授 方	業の 法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第	講義	授業を 通じての 到達目標	体温と疾病の関連性について理解する。	解剖学·生理学 病理学·一般臨	事前に教科書(範囲)を
16	莪形式	各コマに おける 授業予定	体温とその調節		熟読しておくこと
第	講義	授業を 通じての 到達目標	骨の構造と外傷治癒の関係性を理解する①	解剖学·生理学 病理学·一般臨	東前に粉料書(祭田)な
17	我形式	各コマに おける 授業予定	骨の構造と疾病と外傷①	床 (柔道整復学校 協会編集)	事前に教科書(範囲)を 熟読しておくこと
第	講	授業を 通じての 到達目標	骨の構造と外傷治癒の関係性を理解する②		事前に教科書(範囲)を 熟読しておくこと
18	義形式	各コマに おける 授業予定	骨の構造と疾病と外傷②		
第	講	授業を 通じての 到達目標	骨の構造と外傷治癒の関係性を理解する③	解剖学•生理学 病理学•一般臨	事前に教科書(範囲)を 熟読しておくこと
19	義形式	各コマに おける 授業予定	骨の構造と疾病と外傷③	床 (柔道整復学校 協会編集)	
第	講義形式	授業を 通じての 到達目標		解剖学·生理学 病理学·一般臨	事前に教科書(範囲)を 熟読しておくこと
20		各コマに おける 授業予定	筋の構造と疾病と外傷①	床 (柔道整復学校 協会編集)	

授美方	業の 法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第	講義	授業を 通じての 到達目標	筋の構造と外傷治癒の関係性を理解する②	解剖学·生理学 病理学·一般臨	事前に教科書(範囲)を	
21 回	我形式	各コマに おける 授業予定	筋の構造と疾病と外傷②	床 (柔道整復学校 協会編集)	事前に教行者(範囲)を 熟読しておくこと	
第	講義	授業を 通じての 到達目標	筋の構造と外傷治癒の関係性を理解する③	解剖学•生理学 病理学•一般臨	事前に教科書(範囲)を	
22 回	彩形式	各コマに おける 授業予定	筋の構造と疾病と外傷③		事前に教付責(軋囲)を 熟読しておくこと	
第	講義	授業を 通じての 到達目標	筋の構造と外傷治癒の関係性を理解する④	解剖学·生理学 病理学·一般臨	事前に教科書(範囲)を	
23 回	我形式	各コマに おける 授業予定	筋の構造と疾病と外傷④	床 (柔道整復学校 協会編集)	事前に教育者(配西)を 熟読しておくこと	
第	講義	授業を 通じての 到達目標	神経系と疾患・外傷との関連性を理解する①	解剖学·生理学 病理学·一般臨	事前に教科書(範囲)を	
24 回	我形式	各コマに おける 授業予定	神経系の構造と疾病と外傷①	床 (柔道整復学校 協会編集)	事前に教科書(範囲)を 熟読しておくこと	
第	講義	授業を 通じての 到達目標	神経系と疾患・外傷との関連性を理解する②		事前に教科書(範囲)を 熟読しておくこと	
25 回	我形式	各コマに おける 授業予定	神経系の構造と疾病と外傷②			
第	講義	授業を 通じての 到達目標	神経系と疾患・外傷との関連性を理解する③	解剖学·生理学病理学·一般臨床 (柔道整復学校協会編集)	事前に教科書(範囲)を 熟読しておくこと	
26 回	我形式	各コマに おける 授業予定	神経系の構造と疾病と外傷③			
第	講義	授業を 通じての 到達目標	神経系と疾患・外傷との関連性を理解する④	解剖学·生理学 病理学·一般臨	事前に教科書(範囲)を	
27 回	我形式	各コマに おける 授業予定	神経系の構造と疾病と外傷④	床 (柔道整復学校 協会編集)	事前に教行者(単四/で 熟読しておくこと	
第	講義	授業を 通じての 到達目標	運動と外傷の関連性を理解する①	解剖学·生理学 病理学·一般臨	事前に教科書(範囲)を	
28 回	我形式	各コマに おける 授業予定	運動器系疾患と外傷①	床 (柔道整復学校 協会編集)	事制に教科書(範囲)を熟読しておくこと	
第	講	授業を 通じての 到達目標	運動と外傷の関連性を理解する②	解剖学·生理学 病理学·一般臨	事前に教科書(範囲)を	
29 回	義形式	各コマに おける 授業予定	運動器系疾患と外傷②	床 (柔道整復学校 協会編集)	事前に教科書(範囲)を熟読しておくこと	
第	講	授業を 通じての 到達目標	ヒトの身体の構造と外傷・疾患の関連性を判断できるようにな る。	解剖学·生理学 病理学·一般臨	事品)>粉科事/然四/>	
30回	義形式	各コマに おける 授業予定	まとめ	床 (柔道整復学校 協会編集)	事前に教科書(範囲)を 熟読しておくこと	